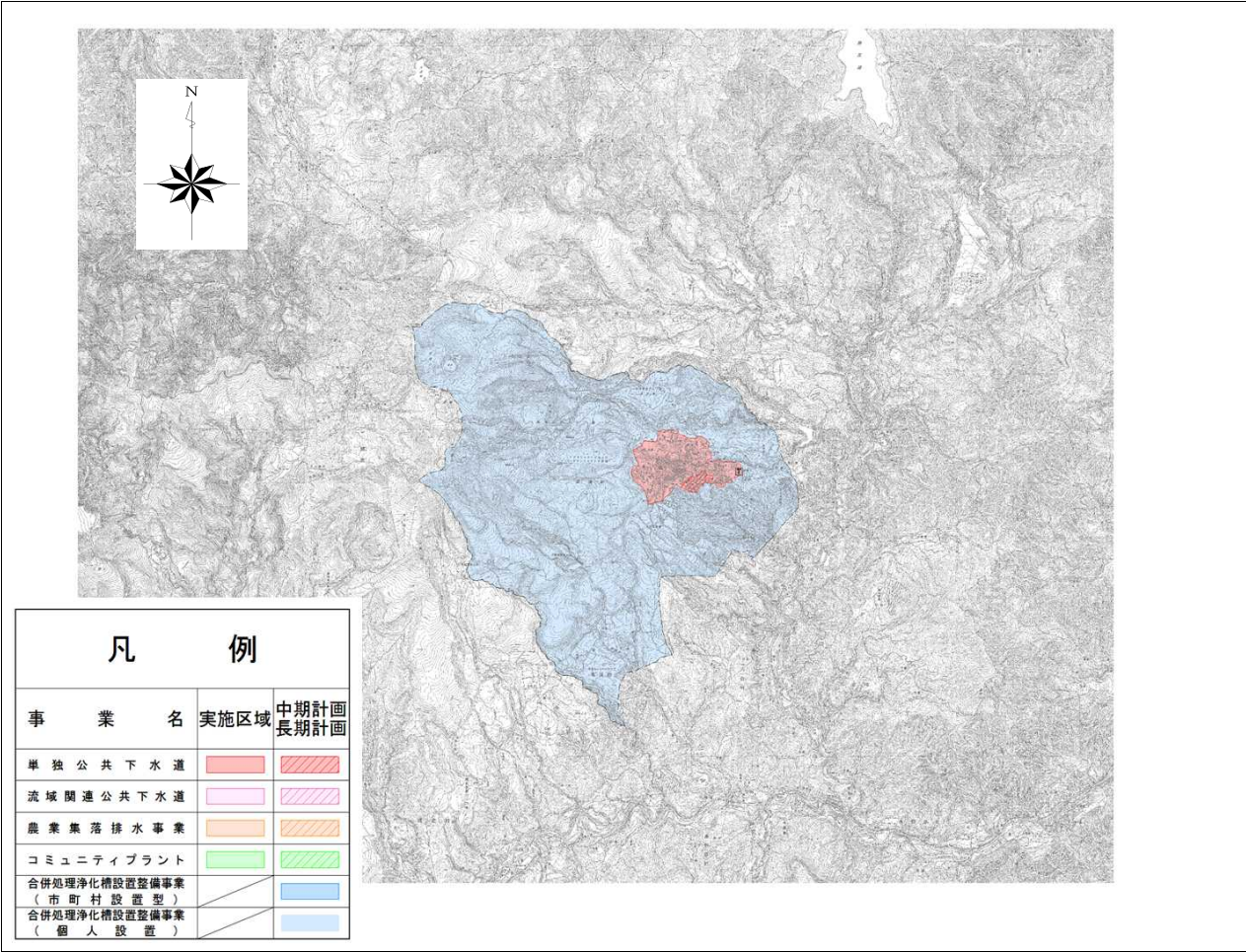


整備区域図



整備計画

①長期的な整備・運営管理内容

課題1	既整備済み下水処理区域内の既設処理場が老朽化しており、処理機能の保全のための改築・更新が課題
課題2	行政区域内の定住人口減少化、節水器具の普及により処理水量が減少傾向中で、下水道維持管理費用の確保が課題
課題3	自治体職員の縮減化に伴い、下水道施設の維持管理・運営に必要な専門的知識・技術を有する人員確保が課題

②スケジュール

計画区分	事業	事業内容	15	20	25	30
			平成36	平成38	平成40	平成42
実行メニュー (運営管理)	共通	低維持管理コストタイプの下水処理機器を導入	(検討)	(整備)		
		下水道施設の維持管理について、民間委託の検討				
		個人設置による合併処理浄化槽の設置、単独浄化槽の転換を推進				

③目標値、目標指標

長期的な整備・運営管理

		全体	公共下水道	集落排水施設	浄化槽		その他
					個人設置型	市町村設置型	
整備手法	整備人口(人)	5,270	4,151	0	1,119	0	0
	整備面積(集合処理分)(ha)	244	244	0	—	—	0
ベンチマーク (指標)	整備人口1人当たりの年間維持管理費(円/年)	—	24572	—	—	—	—
	汚水処理人口普及率(%)	100	100	—	100	—	—
	汚水処理事業の年間広報回数(回)	12	12	—	12	—	—
概算 事業費	総建設事業費(百万円)	—	7226	—		—	—
	年間維持管理費(百万円/年)		102	—		—	—
実施メニュー	下水処理場の改築・更新の整備時に低維持管理コストタイプの下水処理機器を導入	—	○	—	—	—	—
	下水処理場の改築・更新整備後の維持管理及び管渠施設の維持管理について、民間委託の検討	—	○	—	—	—	—
	単独浄化槽の転換促進広報	—	—	—	○	—	—